

陸上自衛隊 第3師団広報紙

3師団だより



5月号

(広報紙第12号)

発行
第3師団司令部広報室

今月の内容

師団創立49周年・千僧駐屯地創設59周年記念行事

観閲官 藤崎師団長 式辞

記念行事写真集

部隊長随想

最先任上級曹長あれこれ

ウンチク駐屯地

一隅を照らす

新婚さんスウィートライフ

3Dレディー

師団創立49周年・千僧駐屯地創設59周年記念行事

第3師団は、平成22年5月16日(日)晴天に恵まれる中、国会議員、各府県知事代理をはじめ、部内外多数の来賓及び約13,000人の観衆を得て、師団創立49周年及び千僧駐屯地創設59周年記念行事を盛会裏に終了した。

観閲式は、観閲部隊指揮官(副師団長・山之上陸将補)が会場に響き渡る凜とした声で、隊員約900名、車両約130両、航空機6機を指揮するなか観閲官(師団長・藤崎陸将)への栄誉礼で始まった。

観閲官の式辞では、「今日に即応し、明日に備える」ためには、日頃からの地道な訓練を着実に積み上げていくことこそが最も重要であると決意を表明した。続いて、大阪府副知事、滋賀県防衛協会会長、第3師団を励ます会会長、衆参国会議員の方々から祝辞を頂き、観閲式に華を添えた。

観閲行進は、第3音楽隊が軽快なマーチを演奏する中、近畿2府4県の出身隊員が捧持する府県旗車両、観閲部隊指揮官及びその幕僚、第36普通科連隊の威風堂々の徒步行進の後、第3偵察隊を先頭に車両約100両が行進、特に74式戦車が地響きを轟かせ行進すると、どよめきが沸き起こった。

観閲行進終了後、まず徒手格闘訓練を展示した後、市街地を含む地域に陣地占領した敵に対する増強普通科中隊の攻撃行動を訓練展示した。観客は戦車部隊及び特科部隊の凄まじい空砲の大音響に耳をふさぎながらも、部隊・隊員の迅速な行動を真剣に見入っていた。

この他、アトラクションとして戦車試乗、装備品展示、子供写真、足湯及びエア-遊具などがあり、大勢の方が足を止められ、家族連れやカップルが、それぞれ装備品の前で記念撮影をするなど、例年以上に楽しいひとときを過ごしていた。



藤崎師団長式辞（１）

本日ここに、衆参両院議員の皆様、大阪府副知事 木村 慎作様、滋賀県防衛協会会長 河本英典様、第3師団を励ます会会長 塩川 正十郎様をはじめ、多数の御来賓の御臨席と地域の皆様の御来場を賜り、第3師団創立49周年及び千僧駐屯地創設59周年の記念式典を挙行できますことは、師団及び駐屯地隊員一同にとりまして、大きな喜びとするところであります。

また、今日まで、第3師団及び千僧駐屯地の歴史と伝統を築かれた諸先輩の御尽力と御功績に対し、改めて敬意を表しますとともに、御臨席の皆様から平素賜っております御協力に対し、師団及び駐屯地隊員一同を代表して、心から感謝を申し上げます。

さて、国際情勢は、国際社会が核軍縮への取組み等諸問題に協力する枠組が構築される一方、人種・宗教に起因する争いは継続するとともに、テロ活動も続発しているように不透明・不確実な要素が未だ存在しております。我が国を取り巻く情勢についても、依然として厳しいものがあり、核開発疑惑やミサイル発射等の北朝鮮問題、急激な経済成長を背景とした中国人民解放軍の近代化、

我が国周辺海域での中国海軍の動向等、我が国の平和と安全に対する不安定要因が数多く存在しているのも事実であります。また、ハイチ地震に代表されるような大規模な地震が世界各地で発生しております。

一方、国内においては、本年が新防衛計画の大綱を策定する年であり、かつ、現行の日米安全保障条約が締結されてから50周年の節目の年であることから、我が国の安全保障という重要な政策について議論が交わされるものと思われまます。また、東南海・南海地震発生の蓋然性が高まるなか、突発的な自然災害への迅速な対応が、従来にも増して自衛隊に強く求められているところでもあります。更に、ハイチへのPKO部隊派遣では、閣議決定後2週間で派遣されたように、世界各地で多発する大規模自然災害への人道・復興支援等への対応など益々迅速性が要求され、我々自衛隊は行動して結果を出す時代になってきていると認識しております。



藤崎師団長式辞（２）

この様な情勢の下、我々第3師団は、「政経中枢型即応近代化師団」として、西日本における政治経済の中心であり、古くからの歴史と伝統を誇る近畿2府4県の防衛・警備を担任するという重責を自覚し、あらゆる事態に対して即時的確に対応できるよう即応態勢を維持するとともに、その能力を向上するため各種訓練に努めて参りました。

昨年度は、兵庫県佐用郡佐用町における水害対処、加古川市・川辺郡猪名川町・和歌山県御坊市山林火災対処における災害派遣を行うとともに、国際連合ネパール政治ミッション及びハイチ安定化ミッションへ要員を派遣しました。また、和歌山県南部における東南海・南海地震対処訓練を始めとする各種の防災訓練への参加、警察との共同訓練、米陸軍との共同実動訓練を行って参りました。

本年度におきましても、各種訓練、演習等を通じて「本格的な侵略事態」への対処能力を保持しつつ、突発的な自然災害等に対しては迅速に対処し得るよう、関係機関及び各自治体と連携を図って参りたいと考えております。また、本来任務の一つとなった国際平和協力活動において、我が師団は、本年度後半約6ヶ月間にわたって国際平和協力活動指定部隊となる予定であります。

このような特性のなか、「今日に即応し、明日に備える」ためには、日頃からの地道な訓練を着実に積み上げていくことこそが最も重要であることを肝に銘じ、そのことが「国民の負託に応える」ことに繋がるということに今一度思いを致し、あらゆる事態に即応し、近畿2府4県の防衛・警備の任務を全うするとともに、地域の皆様から更に信頼して頂けるように精進して参る所存です。

最後になりますが、我々が誇りを持って任務に邁進できますのも、本日御臨席の皆様をはじめとする多くの方々のご理解とご支援の賜であり、重ねて感謝を申し上げますとともに、今後とも第3師団及び千僧駐屯地に対して更なる御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

師団創立49周年・千僧駐屯地創設59周年記念行事写真集



観閲行進



格闘訓練展示



戦闘訓練展示



音楽演奏



太鼓演奏



らっぱ演奏



戦車試乗



戦車と綱引き



エア-遊具

在日米陸軍司令官が第3師団司令部を表敬

師団は4月23日、千僧駐屯地において在日米陸軍司令官（陸軍少将：フランシス・J・ワーシンスキー）の訪問を受けた。

当日は晴天に恵まれ、藤崎師団長以下、師団司令部各部課長等の出迎え、記念撮影の後、司令部庁舎屋上及び作戦室において、師団の概要説明を実施した。

懇談では、第3師団と在日米陸軍とのパートナーシップを強固にすることの重要性について、認識を共有するとともに、今後の更なる連携強化を確認した。



司令部庁舎屋上で千僧駐屯地の周辺を説明する師団長



第3師団の概要説明を受ける在日米陸軍司令官

部隊長随想 ～近畿の通信大隊～ 第3通信大隊長 2等陸佐 池田 洋一

本州中西部に位置する近畿（2府4県）は、飛鳥から平安京まで歴代の王城の地であり、明治維新まで名実ともに日本の中心であった地域です。政治・経済の中心が関東に移った現在も西日本の中核として、日本の伝統的な歴史・文化の地として重要な地域です。全国約14分の1の地積に、鬱蒼とした山々とともに、全国の約6分の1の人が居住する人口密度の高い地域でもあります。

第3通信大隊は、この近畿の防衛警備・災害派遣等を担任する第3師団の指揮の命脈である通信の骨幹を担う部隊です。東南海・南海大規模地震等含めいつ何が起きても不思議ではない中、師団の総合戦闘力発揮を可能とするため、その崇高な使命を「自覚」し、いつ、いかなる任務にも即、行動し必ず通じさせる「自信」を得るため、電波地誌を充実させつつ職種部隊として職種技能の維持・向上を重視し大隊一丸となって日々修練を重ねていこうと思います。



最前任上級曹長あれこれ

第36普通科連隊 准陸尉 浅見 義浩

皆様初めまして、第36普通科連隊最前任上級曹長の浅見准尉です。出身は神戸市です。昭和54年4月、大津の109教育大隊に入隊し、同年9月、第36普通科連隊第1中隊に配置され、16年間勤務させていただきました。

その後、兵庫地本、第8普通科連隊、第4陸曹教育隊陸曹区隊長として11年間修行し、平成18年、原隊である第36普通科連隊に転任し、第3中隊で迫撃砲小隊長・銃剣道教官として勤務しておりましたが、今春、第3代連隊最前任上級曹長に上番いたしました。

上番したとはいえ日が浅く、まだまだ新米の最前任で学ばべき事もたくさんありますが、自分自身が今まで培った経験を最大限活かし、全力を尽くそうと決意を固めている所存です。

連隊は、多様な任務に即応するための態勢と、物心両面の準備を整えているところであります。又、本来与えられている多様な役割に即応しつつ、普通科としての戦闘力の最大発揮の基盤となる教育訓練の練度向上を目指し、日々励んでおります。

連隊の駐屯する伊丹駐屯地は、中部方面総監部はじめ、方面直轄部隊が12個部隊所在する特性上、指揮官意図を徹底させる為には、各部隊間の連携、すなわちヨコのつながりが必要不可欠です。このつながりをより強固なものとし、更なる指揮官意図の徹底、駐屯地の発展に努めていきたいと思っております。

今後、任務は益々多様化し、厳しいものになってくると思われれます。それらの任務を確実に遂行させる為には、日頃からの基本・基礎の確行が重要です。その為、私はこれからも指揮官意図の徹底を図るとともに、常に現場進出に努め、直接指導により隊員の意識を向上させ、連隊の隊員一人ひとりが「俺の連隊」・「私の連隊」と連隊への帰属意識を高めることができ又、連隊の伝統を継承するよう、更なる精強化を目指して行動を興してまいります。



ウンチク駐屯地 ～ 姫路駐屯地～

姫路駐屯地は、播磨風土記にも伝えられる広峰山を背に、南に世界文化遺産・国宝姫路城を仰ぎ見る姫路市街地の北部に位置し、第3師団管内唯一の特科部隊である、第3特科隊及び第3高射特科大隊を主力として、特科直接支援隊・高射直接支援隊・業務隊・基地通信中隊・警務隊・会計隊が駐屯しています。

駐屯地は、明治30年10月に野砲兵第10連隊及び騎兵第10連隊・輜重兵大隊が設置されて以来、第10師団隷下部隊として、日露戦争・満州事変・支那事変・大東亜戦争等で数々の戦果を挙げました。また、終戦を迎えるまでの48年間、第10師団隷下の「練武の地」としても発展しました。戦後は一時教育施設として利用されていましたが、昭和26年2月警察予備隊の設置に伴い善通寺から先遣部隊が到着後、姫路駐屯地を創設、昭和26年4月特科63連隊が発足して以来、幾多の改編を経て現在に至っております。

また、第10特科連隊・第13特科連隊等の部隊をここ姫路の地で編成する等、中部方面隊区内における野戦特科部隊のルーツとも言うべき存在です。加えて、明治時代の建物・慰霊碑等が数多く残されており、歴史を物語る駐屯地です。



駐屯地正門



記念碑

一隅を照らす ~ 第3飛行隊 ~

1等陸曹 武内 章博

今月は、第3飛行隊の後方陸曹、武内1曹を紹介します。

武内1曹は、飛行隊の後方業務を担当し、その中でも武力集団として最も重要な火器・弾薬類・化学器材などの装備品の取り扱いに従事しています。

武内1曹は、平成19年3月23日に第3特科隊本部管理中隊通信小隊から飛行隊に配属されました。

初めての八尾駐屯地勤務、後方業務従事に加え、職種が違う飛行隊での勤務であり、配属当初は何をすればいいかさえ分からない状況であったそうです。

しかし、独学で物品管理関係規則を学び、人知れず努力を積み重ねてきました。

そして、飛行隊長の要望事項である「為すべき事を為せ」ということを実践し、物品管理業務で重要な各書類の整理を適切に行うとともに、倉庫管理を創意工夫して飛行隊の物品管理業務に大きく貢献しています。

特に倉庫は、点検の容易さや確実な耐震対策など地道な努力が伺え、当初の倉庫の状況と比較すると格段の差があります。これは、強い責任感と実行力を持つ武内1曹の努力の賜物であり、飛行隊の誰もが武内1曹に感謝しているところです。

現在では、飛行隊の後方業務担当陸曹として飛行隊を支え、隊員の使用する装備品を常に良好な状態に維持し、飛行隊の精強化の一翼を担っており、一隅を照らすにふさわしい隊員です。



新婚さんスウィートライフ～第37普通科連隊～

陸士長 松山 達哉 恵子さん ♡

今月の新婚さんスウィートライフは、全自レスリング大会において団体戦第3位に貢献した、信太山駐屯地に勤務する第37普通科連隊第3中隊の松山士長・恵子ご夫妻を紹介します。中学からの恋を実らせ、めでたく結婚となりました。

Q = 出会いはいつ頃ですか？

A = 中学2年生の秋です。

Q = 初めてのデートの思い出は？

A = 覚えてません。(^^;)

Q = プロポーズの言葉を教えてください。

A = 「結婚してください」

Q = 新婚生活の感想を聞かせてください。

A = 毎日が楽しく、充実しています。

Q = どんな家庭を築きたいですか？

A = 笑顔が絶えない家庭です。



ご協力ありがとうございました。素敵な家庭を築いてくださいね。

3Dレディー ~ 第3後方支援連隊衛生隊 ~ 1等陸士 岡田 紗

今月は、第3後方支援連隊衛生隊に所属する、岡田1士を紹介します。

平成21年9月に新隊員後期教育を終え、衛生救護員として勤務しています。

日々訓練に邁進し、先輩陸士、陸曹、幹部から知識、技術を吸収中です。「将来はもっと人の役に立てるように資格を取って早く一人前の衛生科隊員になる。」を目標に頑張っています。

- | | |
|-------------|------------------------------------|
| Q：入隊の動機は？ | A：看護師になって人の役に立つ仕事がしたいと思ったからです。 |
| Q：趣味・特技は？ | A：趣味は旅行です。今はもっぱら国内ですが・・・温泉に行きたいです。 |
| Q：好きな訓練は？ | A：衛生科の業務訓練です。少し成長できた気がして気分がいいです。 |
| Q：得意料理は？ | A：粉もん |
| Q：理想の男性像は？ | A：おもしろい人 |
| Q：好きな映画は？ | A：最近見た映画は「アリス・イン・ワンダーランド」です。 |
| Q：今一番欲しい物は？ | A：夏に向けて新しい水着が欲しいです。 |
| Q：モットーは？ | A：「いつも笑顔で」が、モットーです。 |
| Q：今後の目標は？ | A：准看の試験に合格すること |
| Q：最後に一言 | A：おっちょこちょいですが、皆様温かい目で見守ってください。 |



訓練中の岡田1士



編集後記

いつも師団だよりをご覧頂き、ありがとうございます。

今年も5月16日に第3師団創立・千僧駐屯地創設記念行事を実施致しました。当日は、天候にも恵まれ、来場者は約13,000人を数えました。来場者の皆様、楽しんで頂けたでしょうか？

来年は、師団創立50周年・千僧駐屯地創設60周年を迎えることから、本年以上に盛りだくさんのイベントを企画しますので、ご期待ください。

さて、5月も下旬を迎え、バラの花が綺麗な季節となってきました。私は、週末に伊丹の天神川周辺をジョギングしていますが、川の上流にある荒牧バラ公園は、今が見頃で、実に綺麗に咲いています。この時期は、気候も良く、バラを見ながらのジョギングは、本当に気持ち良いものです。

それから、隊員のみなさん！気候が良くなり、薄着になるこの時期、異性がバラのように美しく感じられます。十分注意してください。いよいよ訓練最盛期となります。気を引き締めて「今日に即応し、明日に備える」ため努力しましょう。

師団だより編集担当者

